

2018年12月期 第1四半期 決算補足説明資料

2018年5月10日

zoom®
株式会社ズーム

(ご注意) 本資料の将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が内在しております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

対前年同期比では減益であるが計画通り進捗
なお、第2四半期よりイタリアMogar社を連結

2018年第1四半期連結業績

売上高	： 1,535百万円	（前年同期比 ▲ 0.0%）
営業利益	： 30百万円	（前年同期比 ▲ 62.3%）
経常利益	： 40百万円	（前年同期比 ▲ 12.0%）

■ 売上高増減要因

- ドルベースの売上は増加したが為替レートが円高に推移したため、前年同期比で横ばい

■ 経常利益増減要因

- 研究開発費増加及び子会社買収費用等により販管費が増加（販管費前年同期比 +44百万円）
- 営業外収益に保険解約返戻金を計上（解約返戻金:29百万円）

(百万円)

	2017.12期 第1Q実績	2018.12期 第1Q実績	増減額	摘要
売上高	1,535	1,535	▲ 0	
営業利益 (売上高営業利益率)	82 (5.3%)	30 (2.0%)	▲ 51	・ 販管費対前年同期比44百万円増加
経常利益 (売上高経常利益率)	46 (3.0%)	40 (2.7%)	▲ 5	
親会社株主に帰属する四半期純利益 (売上高四半期純利益率)	28 (1.8%)	27 (1.8%)	▲ 0	
EBITDA	125	73	▲ 52	EBITDA= 営業利益+減価償却費+持分法投資損益
減価償却費	32	31	▲ 0	売上原価と販管費に含まれる減価償却費の合計
研究開発費	170	185	15	
為替差損益	▲24	▲27	▲3	
平均為替レート (円/米ドル)	114.7円	110.7円		

ハンディーオーディオレコーダーとデジタルミキサーが好調

(百万円)

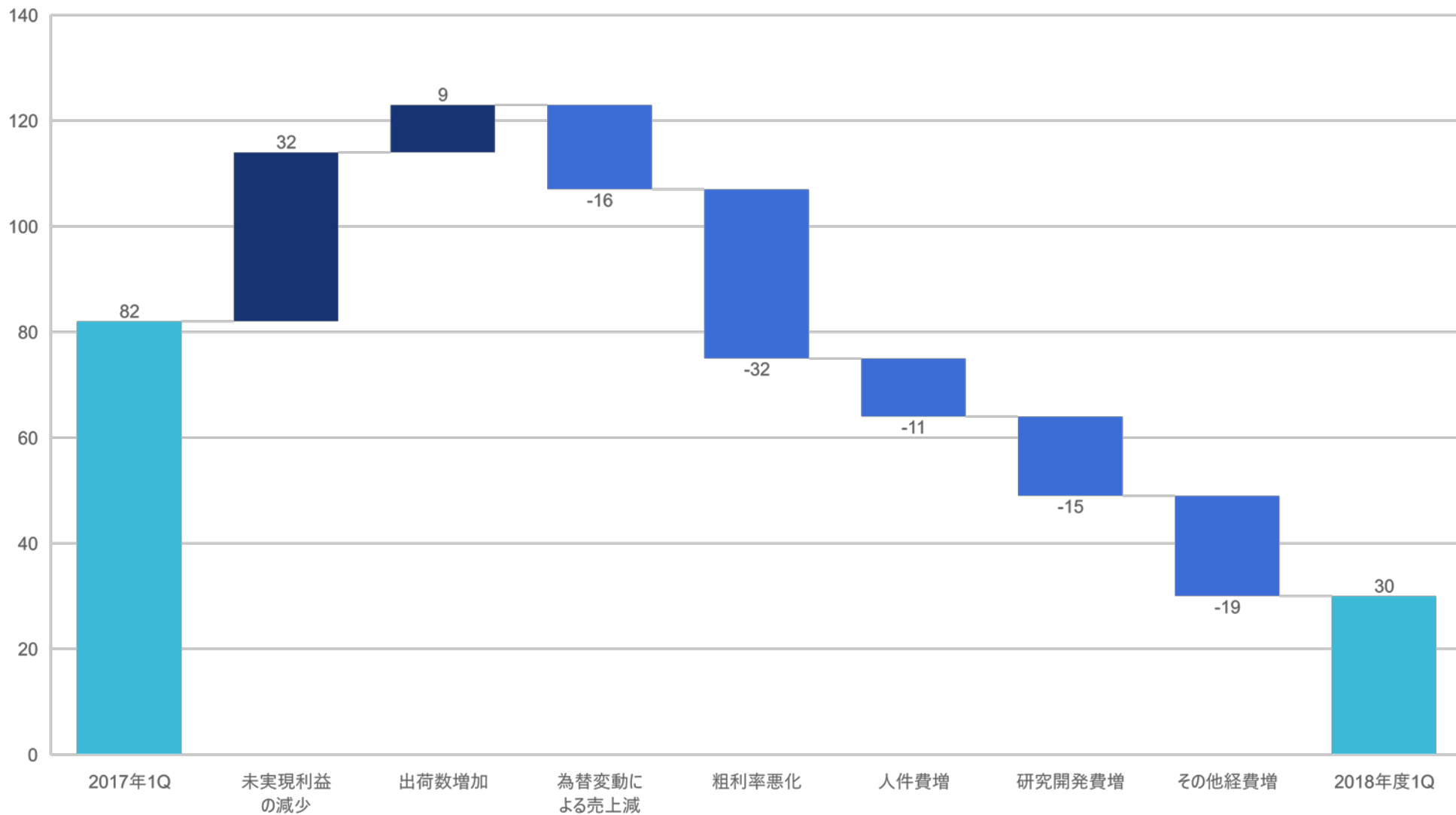
	2017.12期 第1Q実績	2018.12期 第1Q実績	増減額	売上高の増減要因
ハンディーオーディオレコーダー	741	857	116	● H4nProの欧州向けが好調及びH1nの新製品効果により売上が増加
マルチエフェクター	229	211	▲18	
ハンディビデオレコーダー	160	72	▲87	● 前年同期新製品効果で好調だったQ2nの売上が反動減
プロフェッショナルフィールドレコーダー	214	92	▲121	● 前年同期新製品効果で好調だったF4の売上が反動減
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー (旧カテゴリー名：マルチトラックレコーダー)	72	182	109	● 前年発売のL-12の販売が好調
その他	116	118	1	
合計	1,535	1,535	▲0	

北米向けが在庫調整により減少した一方中国向けが大きく伸びる

(百万円)

	2017.12期 第1Q実績	2018.12期 第1Q実績	増減額	売上高の増減要因
北 米	526	404	▲121	前年同期は販売代理店（ZNA）が在庫を積み増したため
ドイツ	192	226	33	新製品L-12の販売が好調（前年同期は無し）
日 本	179	180	1	
イタリア・フランス	138	160	21	前年同期は在庫調整のため売上減少
イギリス	110	101	▲9	
中 国	37	90	52	ハンディーオーディオレコーダーの販売が好調であったため
オーストラリア	24	30	5	
インドネシア	7	28	20	マルチエフェクター全般が好調であったため
その他	317	312	▲5	
合計	1,535	1,535	▲0	

営業利益の増減分析 (百万円)



2018年12月期 第1四半期 連結貸借対照表（要約）



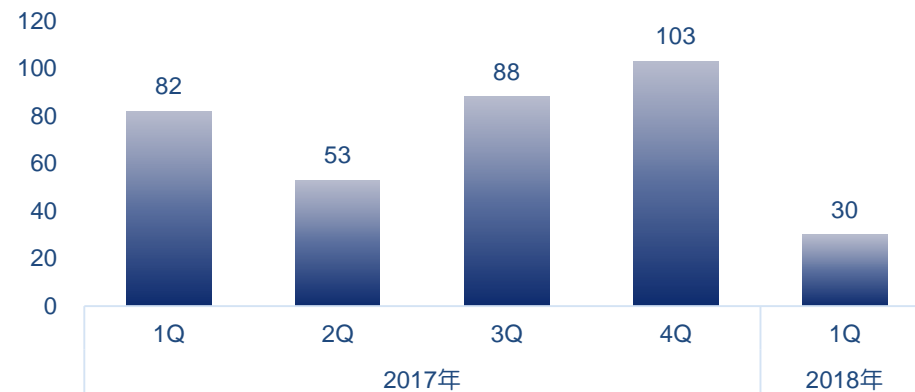
(百万円)

	17.12期末	18.12期 第1Q末	増減額	増減理由
流動資産	6,174	5,404	▲770	
現預金	3,512	3,008	▲504	買掛金の支払いによる減少
売掛金	703	810	106	
商品及び製品	1,415	1,156	▲258	17.12期末は旧正月前の在庫確保による増加
固定資産	629	614	▲15	
有形固定資産	155	162	6	
無形固定資産	28	69	40	基幹システムへの投資
投資その他の資産	445	383	▲62	保険積立金の取り崩し
資産合計	6,804	6,018	▲785	
流動負債	2,283	1,602	▲681	
買掛金	1,249	588	▲660	17.12期末は旧正月前の在庫確保による仕入増 18.12期第1Q末は旧正月により仕入大幅減
短期借入金	678	637	▲40	
固定負債	—	—	—	
負債合計	2,283	1,602	▲681	
資本金	212	212	—	
純資産合計	4,520	4,416	▲104	配当金の支払い 90百万円
負債純資産合計	6,804	6,018	▲785	

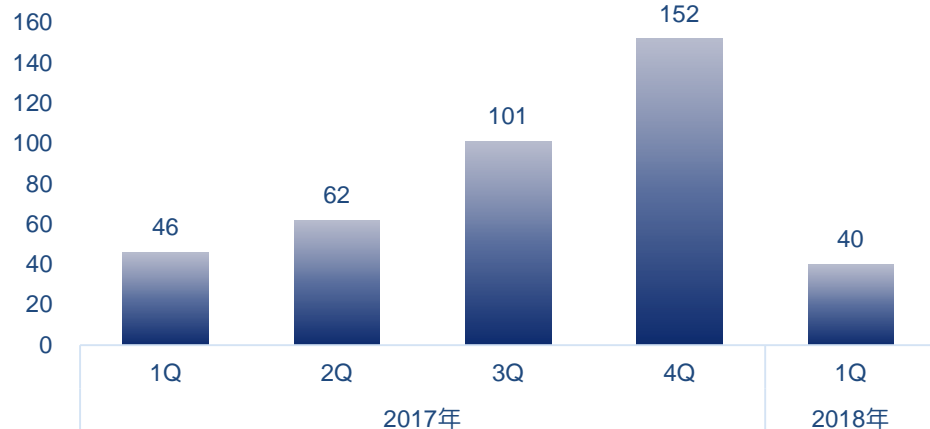
売上高 (百万円)



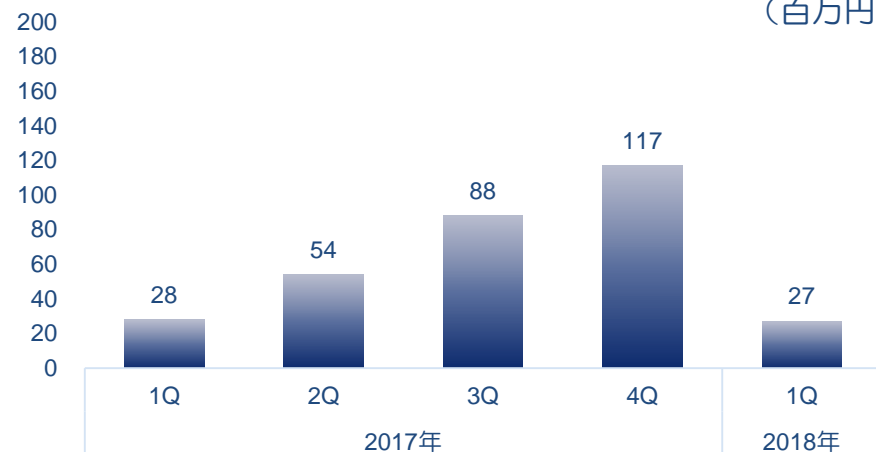
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)



利益は下半期に多くなる傾向

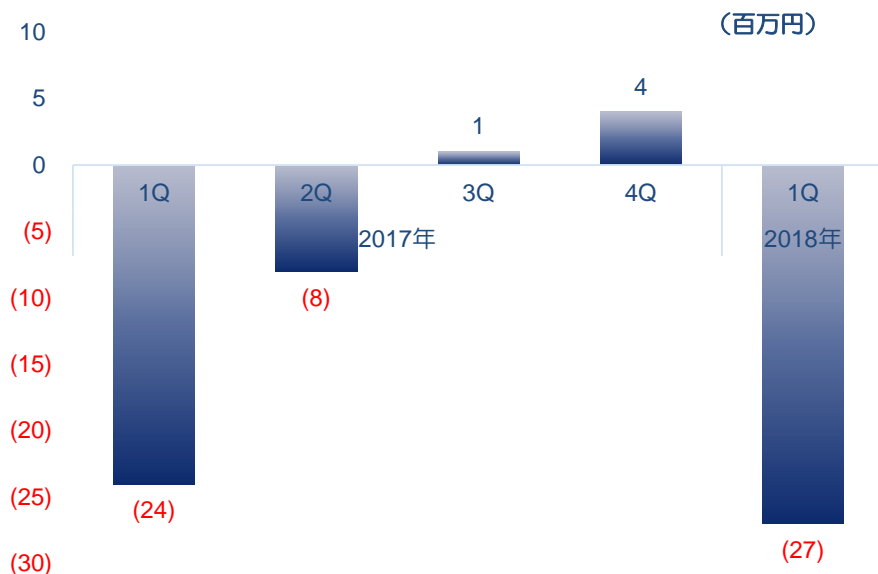
為替差損益推移

主として、為替変動により正味ドル建資産から生ずる為替換算差額。ドル建資産とドル建負債の残高をなるべくマッチングさせるヘッジ（いわゆる為替マリー）を実施しているがいくらかの為替差損益は発生する。

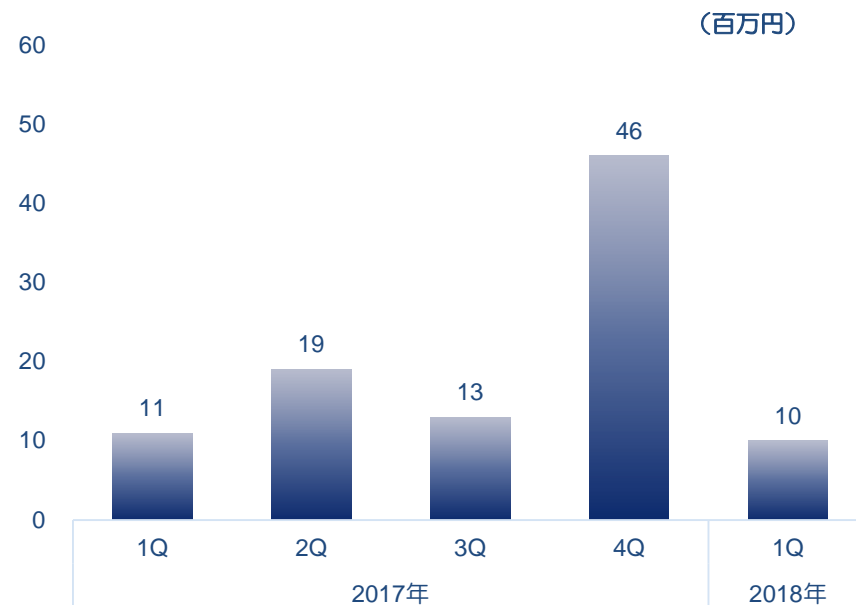
持分法投資損益推移

持分法適用会社である、ZOOM North America LLC(ZNA)とZOOM UK Distribution Ltd の持分法投資損益。年末商戦の影響により、年の後半にかけて両社の利益は増加する傾向にある。

為替差損益



持分法投資損益 (注)



(注) 持分投資損益 = 持分法投資利益 - 租税公課(ZNAの法人税相当)

(百万円)

	17.12期 実績	18.12期				
		予想	増減額	増減率	1Q実績	達成率
売上高	6,300	7,313	+1,012	+16.1%	1,535	21%
営業利益	327	377	+49	+15.1%	30	8%
経常利益	362	433	+70	+19.5%	40	9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	288	340	+51	+17.9%	27	8%
EBITDA	639	734	+95	+15.0%	73	10%

一株当たり当期純利益	133.19円	148.17円	14.98円	+11.2%
一株配当	40円	45円	+5円	+12.5%
配当性向	30.0%	30.4%	—	—
為替レート (円/米ドル)	112.4円	108円	—	—

※当社の売上及び利益は年末商戦に合わせて下期に増加する傾向があり、連結業績予想に変更はありません。

為替感応度（為替相場の変動が年間利益に与える影響）：1円の円高（円安）で営業利益が約15百万円減少（増加）

(百万円)

	17.12期 実績	18.12期				
		予想	増減額	増減率	1Q実績	達成率
ハンディオーディオレコーダー	3,270	3,185	-85	-2.6%	857	27%
マルチエフェクター	1,064	1,044	-20	-1.9%	211	20%
ハンディビデオレコーダー	676	572	-104	-15.4%	72	13%
プロフェッショナルフィールドレコーダー	392	603	+211	+53.9%	92	15%
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー	372	837	+465	+124.9%	182	22%
その他	524	1,070	+545	+104.1%	118	11%
合計	6,300	7,313	1,012	+16.1%	1,535	21%

※2018年12月期第2四半期よりイタリアMogar社を連結いたします。